

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	食道癌術後合併症に関する検討			
2. 対象患者	当科で食道癌に対し食道癌手術を実施された患者様			
3. 対象となる期間	2010年1月1日 ~ 2015年12月31日			
4. 実施診療科等	消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科			
5. 研究責任者	氏名	小笠原 宏一	所属	消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	食道癌に対する根治的治療は手術治療ではありますが、他の消化器外科の手術と比べ、高い侵襲(体への負担)を伴う手術であるという特徴があります。そのため縫合不全、乳び胸、誤嚥性肺炎などの術後合併症の発症リスクが高く、患者様の術後在院日数や予後に影響を与える可能性があります。2010年1月から2015年12月の間に当科で食道癌手術を実施された180名の患者様を、合併症を生じた群と生じなかった群の2群に分け、合併症の発症要因や追加された治療、予後を比較、評価することで、これからの食道癌手術の安全性や患者様の予後の向上に寄与できるものと考えます。			
8. 研究の目的	当科で食道癌に対し食道癌手術を施行された患者様を対象とし、術後の合併症とその経過を評価、検討することで、食道癌手術の安全性や患者様の予後を向上させることを目的といたします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録から、病歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、各種検査所見、画像所見、手術所見、術式、合併症などの手術関連情報、術後経過、予後などの情報を収集し解析を行います。			
10. 個人情報の保護	患者様個人が特定される情報を収集することはありません。研究結果は学会等で報告されますが、個人が特定される情報を公開することはありません。拒否の申し出があった場合は研究対象から除外しデータを削除いたします。ただし匿名化の上で解析済みの場合や研究結果公表済みはデータを修正することはできませんのでご了承願います。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科 小笠原 宏一			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080